

選考委員（委員長）有馬朗人 猪瀬 博 宇井理生  
 吉森昭夫 櫻井英樹 中島尚正  
 丸山工作 佐野信雄

#### 8. 科学技術賞の贈呈

平成9年3月の予定。

#### 9. 推薦書提出先・連絡先

〒279 千葉県浦安市美浜一丁目8番1号

（東レビル）

（財）東レ科学振興会

TEL：(0473) 50-6103

FAX：(0473) 50-6082

- (注) a. 候補者は、必ずしも貴会会員であることを要しません。また貴会の関連領域にある候補者についてもご配慮願います。
- b. 推薦を受けた候補者は、その年度および次の

年度にわたって選考の対象としております。したがって平成7年度に推薦された候補者については、平成8年度候補者として再度推薦の必要はありません。ただし平成7年度の推薦以後において、追加すべき顕著な業績又は発表や受賞があった場合は、平成7年度推薦書（コピー）に加筆して当会あてご送付願います。

- c. 受賞者は、原則して1件1人とします。特に複数であることを必要とするときはそれらの研究者の寄与が同等であることを示して下さい。ただし、この場合でも1件として取り扱います。
- d. この科学技術賞は、所得税法（第9条第1項第13号二）の規定により非課税となっております。

## 日本気象学会1996年度春季大会の報告

日本気象学会1996年度春季大会は、大宮ソニックシティを会場として1996年5月21日（火）～23日（木）に行われた。参加者数は714名（一般会員448名、学生会員176名、非会員90名）であった。

2日目午後には、大宮ソニックシティ小ホールにおいて大会シンポジウム「雷雲」が行われた。これに続いて総会が開かれた。その際、小寺邦彦会員と上田博会員に日本気象学会賞が、笠原彰会員と光田寧会員に藤原賞が授与され、総会終了後に受賞記念講演が行われた。

一般講演の発表申込件数は310件で、過去5回とほぼ同じであった。その内訳は第1種講演が234件、第2種講演が37件、ポスターが39件であった。第2種講演として申し込まれた講演のうち、予稿が第2種の要件を

満たさない等の理由でプログラム編成時に第1種に変更したものが6件（前回は4件）あった。今回もポスター発表の件数が多かったため、前回と同じくポスター・セッションを2回に分け、1日目夕刻と3日目午前に行った。スペシャル・セッションは「気象予報技術」をテーマとして第2日に行われ、9件の発表があった。

会期中およびその前日と翌日には、個別のテーマによる研究会が計3件開かれた。また3日目の昼休みには大会の改革案に関する懇談会が開かれた。

最後に、今大会事務局として大会準備・運営にご尽力頂いた東京大学海洋研究所の皆様へ深く感謝の意を表します。

1996年6月 講演企画委員会